

各 位

会 社 名 株式会社ニッセンホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 片山 利雄
 (コード番号 8248 東証・大証第一部)
 問合せ先 執行役員財務本部長 石畑 成人
 (T E L 075-682-2041)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 1 月 31 日に公表いたしました平成 23 年 12 月期（平成 22 年 12 月 21 日～平成 23 年 12 月 20 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 22 年 12 月 21 日～平成 23 年 12 月 20 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 23 年 1 月 31 日発表)	142,400	3,800	4,000	3,600	70.88 円
今回修正予想 (B)	140,400	2,380	2,160	1,580	31.11 円
増減額 (B-A)	△2,000	△1,420	△1,840	△2,020	—
増減率 (%)	△1.4	△37.4	△46.0	△56.1	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成 22 年 12 月期)	137,392	3,196	2,846	3,001	59.10 円

2. 修正の理由

当社グループの主力事業である通販事業の株式会社ニッセンにおきましては、中期的な顧客基盤の拡大に向けて積極的な販促活動を実施したことで稼働客数は順調に増加しているものの、秋冬カタログ配布後のシーズンピーク時に、気温が高めに推移したことによりアパレル商品の販売が振るわず、売上高は計画を下回る見込みです。

利益面につきましては、売上が減少した分の限界利益低下に加え、想定以上の素材価格の高騰や委託工場の加工賃増加による原価上昇の影響等により、原価率が上昇いたしました。さらに、新規顧客獲得のために、当初計画以上のカタログ配布を行った結果、新規顧客獲得数は前年を約 10 万人上回ることができましたが、費用対効果は計画を下回り、利益を押し下げる要因となりました。

その他全社関連としましては、東日本大震災の影響による震災関連コストの特別損失計上を見込んでおります。

以上により、グループ連結業績予想数値につきまして、前回発表予想より売上高は 2,000 百万円の減少、営業利益は 1,420 百万円の減少、経常利益は 1,840 百万円の減少、当期純利益は 2,020 百万円の減少となる見込みです。

なお、業績予想の修正による期末配当予想の修正はございません。

(注) 上記に記載した予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績については当社及び当社グループをとりまく様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

以上